

## 平成28年度 第1回鳴門市教育振興計画審議会 会議概要

【開催日時】：平成28年7月14日（木）午後3時から午後4時30分まで

【開催場所】：教育委員会棟2階会議室

【出席者】：審議会委員10名

朝田委員、川上委員、久次米委員、黒濱委員、阪根委員、先田委員、  
佐藤委員、藤田委員、山本委員、米崎委員

鳴門市8名

安田教育長、大林教育次長、天満教育総務課長、竹下学校教育課長、  
事務局4名

傍聴者 なし

### ○次第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 審議会委員の自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 審議会への諮問
- 6 審議会の進め方について
- 7 議事  
(1)「鳴門の学校づくり計画」について  
(2)計画の策定に向けた自由意見
- 8 その他
- 9 閉会

### ○会議資料

- 【資料1】 鳴門市教育振興計画審議会委員一覧
- 【資料2】 鳴門市附属機関設置条例
- 【資料3】 鳴門市教育振興計画審議会運営要綱
- 【資料4】 鳴門市教育振興計画策定スケジュール
- 【資料5】 鳴門の学校づくり計画
- 【資料6】 現行計画の概要と現状
- 【資料7】 教育振興計画に係るアンケート結果抜粋
- 【資料8】 第二期鳴門市教育振興計画
- 【資料9-①】 人口推移
- 【資料9-②】 児童・生徒数の推移（小学校）
- 【資料9-③】 児童・生徒数の推移（中学校）
- 【資料番号なし】 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引
- 【資料番号なし】 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（要旨）
- 【資料番号なし】 明神小学校に通うようになってのアンケート集計結果

### ○会議概要

- 1 事務局が開会を宣言した。
- 2 安田教育長があいさつを行った。
- 3 審議会委員が自己紹介を行い、続いて事務局が自己紹介を行った。
- 4 委員の互選により、会長に阪根委員を、副会長に山本委員を選任した。
- 5 教育長から阪根会長に鳴門の学校づくり計画の策定についての諮問書を手渡した。

- 6 審議会の進め方、スケジュールについて事務局が説明した。
- 7 議事（１）について事務局が説明した。  
議事（２）として、各委員が意見、感想等を述べた。

発言の内容は以下のとおり

■議事（２）計画の策定に向けた自由意見について

会 長

事務局からこれまで説明を聞いたうえで、感想やこれからの方向性をどのように考えているか、お伺いしたい。

H委員

説明にあった適正規模ではない中学校で勤務経験があるが、大きな学校でないとできない活動もちろんあるが、小さな学校でないとできない活動もたくさんやってきた。人数が少ないと、動きも取りやすく、小さければ小さいなりの活動の仕方があると思う。

B委員

北灘東小学校、北灘西小学校が休校となり明神小学校に通うようになって一年あまり経過したが、成果と課題を教えてください。

小規模校で育ってきた子は個別の力を持っている一方、大人数の中で行動する時の積極性、主体性といったものは大規模校で育ってきた子の方があると感じる。

小規模校、大規模校で育ってきた子が社会に出て行ったときどう違ってくるのかということ日は頃考えている。

I委員

鳴門の街の将来を見越して、地域を大事にする、愛するような子どもを作るためにはすべて統合するのがいいのかどうかということもある。

とにかく元気で前に出る鳴門の子を作りたいという思いがある。

G委員

保護者の観点からすると、共通学区も、ある人は〇〇小学校、隣の人は△△小学校ともなれば、それぞれの親との付き合いにも問題が生じてきたりもする。

地域の思いとしては、地域の子もたちのことはある程度把握しておきたいという気持ちがある。

E委員

統合することで、通学距離が延び、子どもたちの負担が大きくなることが心配。子どもたちのことを一番に考えた再編が望ましいと思った。

K委員

人口減少が激しい中で再編は避けられないと思う。

統合で空いた施設自体をどうしていくかという問題も出てくるので、施設の有効活用といった部分も考えていかなければならないと思う。

J委員

（現行計画 13 ページ）鳴門中学校区で、鳴門東小学校と鳴門西小学校との統合について検討する場合、地域にある鳴門教育大学との連携や活用、鳴門中学校との小中一貫教育校など新しい学校づくりに向け、検討とあるが、地域の幼稚園のあり方について考える必要がある。

統合については、少人数だから統合の必要があるというのは違うと思うが、6人、5人となると、子どもの教育的な面から見てどうなのかという思いもある。

#### L 委員

子どもにとって何が必要なかと思うと、少ない予算の中で十分勉強する環境を作ってあげることが親の役目ではないかと思う。

#### F 委員

学校づくりは、学校だけでなくそれを支える地域との関わりが大事だと思う。学校と地域一体となった学校づくりを同時にやっていければいいと思う。

#### 事務局

(B委員の発言を受け)平成28年4月に実施した、北灘町の児童が明神小学校に通うようになってのアンケート集計結果を説明

#### 会 長

アンケート結果を見る限り、概ね良しといった感じだが、一つはっきりしていることは子どもは学校が変わってもそう変わらないということだ。

再編については、何がいいのかということを出断するのは難しい。教員にとっては、少人数は非常に楽だがそうもいかない。ただ、実際の鳴門の学校数はというと、人口からすると多いと感じる。これだけ学校数が多いと各学校の教育予算は比較的少ないのではと思う。

今後、学校・地域のあり方について様々な選択が生まれてくる、そういう意味でこれから審議会で考えていっていただけたらと思っている。

最後に、副会長に総括をお願いしたい。

#### 副会長

地域も大事、親も大事だが子どもの将来のためにどういう形がいいのかということを守護者も地域も学校も教員も教育委員会も市民も考えていかなければならない。

そういう意味で鳴門市の再編計画が統合ありきではなく、子どもたちのためにどうすることがいいのか、皆さんが意見を共有してどのように答申できるかということを楽しみにしていきたい。

8 その他として、事務局より次回の開催については9月2日を予定している旨報告した。

9 閉会